

導入事例
「てれたっち」80インチの大画面テレビがタッチディスプレイに変身!
プレゼンがよりわかりやすく、スマートに。

福井コンピュータアーキテクト様では、国内の建築設計CAD市場No.1のシェアを誇る3D建築CADシステム「ARCHITREND ZERO」をはじめ、商業・ビル建築向けの設計システムなど開発販売を行っています。各種製品を常設している体験型の梅田ショールームに採用されたアイ・オー・データの「てれたっち」。その導入効果や操作感について、ご担当者様からお話を伺いました。



導入商品

外付け型タッチモジュール
「てれたっち」
電子黒板アプリ付きモデル

*ディスプレイは別売りです。DA-TOUCH/WB

【バーチャルリアリティ(VR)を使った最新CAD技術が体験できるショールーム

梅田ショールームは、当社が開発・販売するCADソフトの体験コーナーを中心に、各種セミナーや勉強会などを実施しています。様々な業界で注目を集めているVRも体験できます。VRを使うことで今までの画面だけのプレゼンから、まるでその空間にいるかのような体験が可能になります。そんな最新の機器を備えたショールームに設置されている80インチの大画面テレビに「てれたっち」を導入しました。

【取り付けが簡単!スマートさもショールームではポイントに

「てれたっち」の取り付けは簡単でした。ディスプレイに合わせてサイズを調整し、ネジを締めるだけ。初回の設定も迷うことなく簡単にできました。また、「てれたっち」は電源アダプターが不要でパソコンと接続するUSBケーブルだけというシンプルさもいいですね。ショールームはスマートに見せることも重要なポイントです。以前まで使っていたタッチパネルは、画面に専用のパネルをはめ込むタイプでした。それだと映り込みがあったこと、リモコンの受信部分が隠れてしまうので、電源のオンオフなど操作がしづかったのですが、「てれたっち」だとそういったこともなく、快適です。さらに、もともとあった大画面テレビを活用できたのも魅力ですね。



執行役員 営業部 部長 福田英二氏

【「今までの違いは、お客様との距離感がぐっと縮まったこと。」

「てれたっち」を導入したことで、80インチの大画面テレビがパソコンの画面を表示していただけのものから、画面を直接操作できるタッチパネルディスプレイに変わりました。この変化は、プレゼンやセミナーの際の「お客様との距離感」の変化に表れました。演台越しに話していたことと、画面を操作しながらでもお客様のほうを向いて話ができるようになったこと、これは大きな違いです。お客様との距離感がぐっと縮まったことを感じました。同じプレゼンでもお客様の反応が変わり、より興味・関心が深くなったように感じます。

また、実際に画面をペンで操作することで説明も伝わりやすくなりました。例えば、建築カラーパース(完成予想図)や設計図面を表示している画面にテキストの書き込みやマーキングもできます。さらに、会議の際などには、インタラクティブボードとして使うことができます。単に画面を表示するだけでなく、書き込むことができるのも大きな違いですね。今後、さらにどういった効果や変化があるのか、非常に楽しみです。